

ヒアルロン酸分解酵素 活性阻害試験

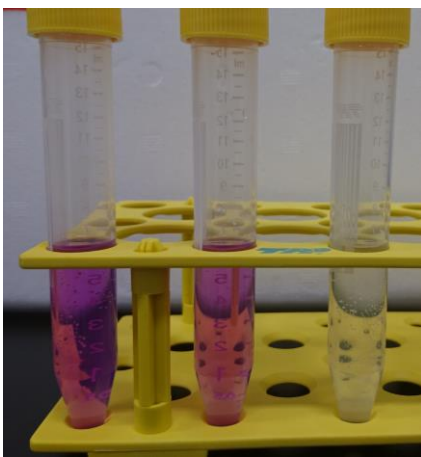


SUSCARE

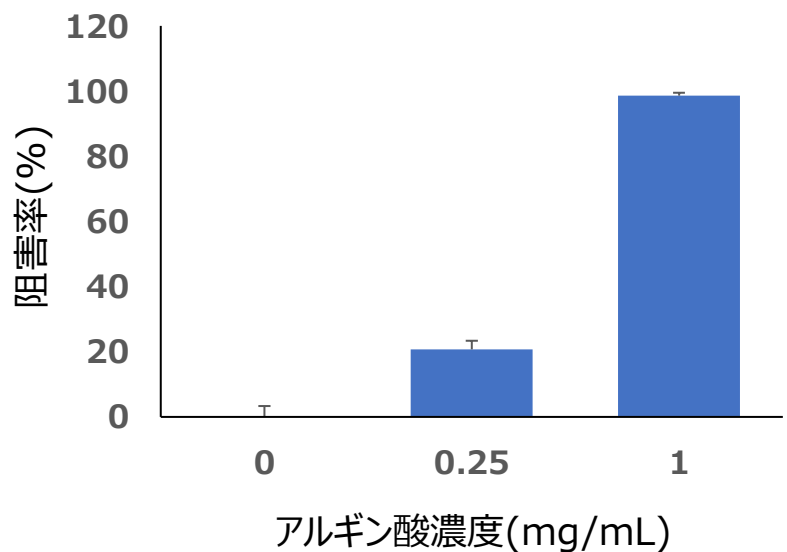
1. 測定条件

ウシ精巣由来のヒアルロン酸分解酵素(ヒアルロニダーゼ)と所定濃度のアルギン酸を反応後、酵素の活性化剤により活性化させ、ヒアルロン酸を分解した。分解反応後、分解により新たに生成されたN-アセチルグルコサミンをモルガン-エルソン法を用いて検出し、阻害率を算出した。

2. 測定結果



0 0.25 1
アルギン酸濃度(mg/mL)



3. 測定結果から得られる情報

アルギン酸の濃度依存的に阻害率が上昇することから、アルギン酸はヒアルロン酸分解酵素の活性阻害効果を有することが示された。ヒアルロン酸は肌の保湿に関与しており、ヒアルロン酸分解酵素により分解されると肌の保湿性が低下させる原因の一つとなっている。そのため、ヒアルロン酸分解酵素の活性阻害効果を有する物質は保湿効果が期待できる。

4. 試験料

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。